

# 平塚地域「陸運事業者及び荷主等における連絡協議会」

## 「ドライバーの安全を確認」

in 日産車体(株)

令和5年11月

平塚労働基準監督署は、管内の関係団体（神奈川県労働安全衛生協会平塚支部、建設業労働災害防止協会神奈川県支部平塚分会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会神奈川県支部平塚分会）にて構成する平塚地域「陸運事業者及び荷主等における連絡協議会（以下「連絡協議会」という）」において「トラックドライバーが荷主の敷地内にて、安全に作業を行う」ための問題点を共有し、労働災害防止に努めています。

今回、連絡協議会の活動として、連絡協議会構成員事業場の担当者・事務局など合計25人で、荷役作業時の災害防止の取り組みを積極的に行っている日産車体株式会社本社・湘南工場（平塚市堤町2-1）にて、見学及び意見交換を行いました。



参加者は、安全環境部担当より湘南工場の概要説明を受け、動画の視聴を終えたあと、生産・物流管理部担当より荷役作業時の災害防止活動の説明をいただきました。そのうちいくつかの活動を下記に掲載します。

### ☛ 其の一

湘南工場においては、トラックドライバーが工場内のフォークリフトを自ら運転をし、荷を車両から降ろす自主荷役を行っています。そのルール、取り組み。

☆☆☆ **フォークリフトの運転は「運転許可証」が交付された者のみ**

→運転許可証の交付を受けるには運転技術・学科試験があり、工場内ルールの教育を行い、ドライバーの安全意識を高めています。

(POINT：労働安全衛生法の資格のみではなく、「運転許可証」所持者に限定し、持続的に作業が出来る環境づくり。自主荷役を任せる際、安全水準の維持が期待されます。)

## 🚚 其二

構内関連会社である日産車体エンジニアリング（株）と共に、作業を行うトラックドライバーの意見収集、連絡調整を行っています。

### ☆☆☆ 危険箇所 MAP と標準作業書、困りごとリスト

→トラックドライバーが、作業を行う際に感じた危険箇所などを図示した構内 MAP の作成、周知およびトラックドライバー意見を取り入れた標準作業書を適宜見直しています。また、ドライバーの困りごとの解消のため、リストを作成し、問題点・課題点の見える化を図っています。

(POINT：安全に荷役作業を行うための提案を荷主に行える制度があり、それを荷主が調査審議し、改善につなげています。)

そのほか、「路面補修、歩行路の明確化、雨濡れ対策、腰痛防止の架台設置」を始めとした作業環境の改善、月1度の「安全の日」の活動、スタッフによるパトロールの取り組み、工場内の待機場所、ドライバーの運転時間の圧縮計画など…

生産・物流管理部担当の説明の中で

『(ドライバーへの) 指摘よりもルールを守ってもらうにはどうしたらよいかを考える』という発言が、印象的でした。

### 湘南工場・2地区

(写真1)



(写真3)

写真1: 待機場所(車両通路左より、バスレーン、待機レーン1・2・3・4、走行路)

### 工場内見える化 OK



(写真2)



(写真4)

写真2: ラインライト装備(接触防止)

写真3: トラックポート(荷役作業場所。停車位置の間に「止マレ」) 写真4: タイヤ(スピードマーク)、マスト(フォーク位置)

連絡協議会は、令和5年8月「安全推進宣言」を宣言いたしました。

今後も陸運事業者と荷主等が協力していく労働災害防止の取り組みを図っていきます。